



学校だより

5月号



令和 6年 4月27日
横浜市立能見台南小学校

← 学校ホームページ
QRコード

あいさつ

校長 榊原 一紀

桜の花の次は、白、紫、ピンクの鮮やかなつつじの花が咲き誇っています。能見台南の豊かな自然のすばらしさを感じます。入学・進学してから1か月が過ぎます。新しい学習が始まったり、友達が増えたりと子どもたちを取り巻く環境にも変化がみられる時期です。子どもたちの変化や成長も丁寧に見ていきたいと思えます。

入学式と始業式で『「格好いい」自分になろう』を達成するための3つの秘訣とおまけの1つを話しました。3つは「あいさつ」「優しい心」「ルールを守る」そしておまけの1つは「自分のことは自分です」です。4月19日に、学援隊の方に「よろしく願いますの会」を行いました。終了後に登校の様子を聞くと、隊長の外川さんから「多くの子が、あいさつをしてくれて、朝からうれしい気持ちになる」と話してくれました。能見台南の子どもたちは「格好いい」の3つの内の一つの「あいさつ」ができる子が多いのでしょうか。すばらしいです。

「あいさつをしましょう」と言うことが多くあります。では、逆に「なぜあいさつをするのですか」と聞かれたらどう答えますか？

「礼儀だから」「自分がしてもらおうと嬉しい」「友達が増える」「よい印象が与えられる」「人間関係がよくなる」「相手の存在を認めることだから」など、たくさんの回答があると思います。西洋ではあいさつによって「私はあなたの敵ではないですよ」ということを伝えているという話も聞いたことがあります。

私は、『あいさつをすることは相手に「あなたは私にとって大切な存在ですよ。」と伝えていることになるから大切だ』と話してきました。そして、あいさつを受けた相手は、あいさつの言葉以上に隠れた言葉が聞こえるとも思っています。例えば、友達へ「おはよう」と言えば「おはようございます。今日もあなたが元気でよかったです。」や「さようなら」の言葉には「さようなら。明日も一緒に遊ぼうね。」など、嬉しい言葉が聞こえてきませんか。外川さんには「おはようございます。」の言葉に「毎日見守っていただきありがとうございます。おかげで元気に登校できます。」と聞こえたのかもしれない。

さらに嬉しい話も聞きました。卒業生がわざわざ「これまでありがとうございました」とあいさつに来てくれたそうです。能見台南には、すばらしい子がたくさんいます。